R-18
adult only

どうして
こうなったのか

きっかけは覚えてない

ちっ

くちゅ

意見の違いだとか
ストレスだとか

些細な事だった
気がする

前世の記憶を持つ
身としては
男に抱かれる事に
それなりの葛藤もあったが

ぱ
ぱ
ぱ
ぱ

割り切ってしまえば
なんてことはなかった

恋愛感情なんてない

だから大佐殿が
他の誰かといようが

私には関係ない

どうして
こうなったのか

疲労だとか、
苛立ちだとか
そんなものは言い訳に
ならない最低な行為だと
自覚している

それでも

あの白銀を組み敷いた時の
支配欲だとか、求められる
独占欲だとか、

己の仄暗い欲望を
認めてしまえば
そこから先の罪悪感は
薄らいだ

恋愛感情はない

だから彼女が他の
誰かと関係があろうが

私には
何も言う権利はない

ぐっ

では小官はこれで

あまり乗り気じゃなさそうだな

今日はやめるか？

お好きにどうぞ
昨日の今日で
お元気な事で

何の話だ？

小官の様な凹凸のない
身体で満足出来るのですか？

突然何を言ってるのか
解らないがそうか…
他に相手が出来たんだったな

すまなかった

何の話です？

手を繋いで楽しそうに
男と歩いてただろう

貴官にはそういう
浮いた話は無縁だと
思っていたから意外だったよ

何のお話か
解りませんが

大佐殿こそ娼婦と
娼館街へ行くのを
見ましたよ

小官のような小娘よりも
豊満な女性のが満足
出来るのでは？

娼館…？

あぁ、あれは

一言

飽きたからこの関係を
解消したいと申して
くだされば綺麗に
なかった事にしますとも

何を言って…

もちろん他言もしませんので
ご安心ください

弱みを握ってどうこうする程落ちぶれてはおりませんので

ぎゅっ

!?ちょ…っ
大佐殿!?

ズルッ

大佐殿!?

何を…っ

ズボッ

私がいつ飽きたなんて言ったんだ?

君の同意が必要なくても
良いのなら好きにさせて
もらおうか

なっ…！
ちょ…っ

ハッ
ハッ

ハッハッ

！

ハッハッ

ハッ

ハッハッ

っ
ふっ
っっ

ハッハッ

ハッハッ

どうした？
いつもみたいに
可愛い声で
啼かないのか？

ここは既に
硬くなってるが？

ぷっ

ビクッビクッ

……ッ

声を出すほどの
事でもないので
……っ……

ふうっ

ふうっ

ふうっ

ぬいちゃった

ぶっ…ぐーっ

ズルル

ぶっ

ぶっ

ズルル

ズボッ

ズボッ

ズボッ

ズボッ

ズボッ

ひあぁっ

案外早かったな？

んっ

ぶるぶるっ

なっ…そんなとこ…
舐めないで…っ
…くださっ…

意外な所に
弱点があったものだ

ペロ

ぁっやっ

ぶるぶるっ

おっおっ

先程よりも乳首が硬くなってるぞ？

ふっふっ

ぶるぶるぶるぶる

ビクッビクッ

ビクッビクッ

ビクッビクッ

ぶっ
ぶっ
ぶっ

上官を足蹴にするとは
貴官らしくないな
デグレチャフ少佐？

罰が必要か

!?

ぐいっ

ぐぐっ

ぐぐっ

ぐぐっ

ぢゅっ

ふっ
おっ
おっ！
おっきっ

べろぉっ

ぐぐっ

ぐぐっ

ぐぐ

ふぅ～っ

ふっ

ふっ

ふっ

イッてもいいぞ？

ひあっ

ぐりぐり

ぐりぐり

ふっ

ふっ

ふっ

ぐりぐり

ぐりぐり

大佐殿こそ
はちきれそうですよ？

どうぞ我慢はせず
だしてください

ぐりぐり

ぐりぐり

ぐりぐり

くちゅっ
んっ
んんっ
ちゅ
くちゅっ
ちゅくっ
はぁ
はぁ
ちゅ
くっ…
あふっ
んんあっ
ふぅんっ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

ヒクついてるな
少佐？

イきたいか？

にちにちー

ぐちっ

…っこんなガチガチに
してる大佐殿に言われたく
ないですねっ…

ぐりっ

ぐりっ～

ぐりっ

はっ

はっ

イきたいのは
大佐殿の方では？

はっ

はっ

ぐりっ

ぐりっ

ぐりっ

うわっ

うあっ
あっ
くいっ
くいっ
ぷっ
にゅぢっ
にゅぢっ
にゅぢっ
にゅぢっ
ぷっ
ぷっ…んっ…
ぷっ
ぷっ
腰が揺れてるぞ少佐
いつものように
強請ってみたまえ

ガシッ

限界なのは…
大佐殿でしょう…っ

はぁ
はぁ
はぁ

…あぁ…
そうだな
…

えっ？あっ
…まっ…

ぁっ
あっ
あっ
はっ
あっ

あっはっあっ
はっはっ
イッたな？だがあれだけ挑発したんだ
まだまだ付き合ってもらうぞ
ズンズン
ズンズン
ズンズン

ぐぐぐ

ぐぐぐ

ぐぐぐ

あふっ
おっおおおっ
くちゅっ
ズッ
それっ…やっ
いやですっ
ひんっうおっ
ズッ
ズッ
はっはっはっはっ
ズッ
ズッ
おっやっ
ズッ
ズッ

イイの間違いだろう？
こんなに締め付けて
ナカをヒクつかせて…っ

…っあ…なたこそ
…っ…

いつもより…っ
余裕がなさそうで…っ

こんなに乱れてる
君は初めてだからな
強引な方が好きなのか？

なっ…！そんな訳…
ないでしょうっ

おっ
ひっ
おおおっ

まだ余裕が
ありそうだな

いい啼き声だな少佐

ふっ ふっ

れあっ

――!……ッ……

ぱっ

ふっ ふっ

ふっ

声を抑えるほどの
理性は残ってるのか

ならもっと激しく
させてもらおう

ふっ

ふっ

ふっ

ビリビリ
ビリビリ
ビリビリ

ここか

まって…！
まってぇっ！
それ！だめ！だめ！

…ヒ…
エーリッヒッ

ドン

ドン

ドン

ぷぽっ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

…ターニャッ

ハッ

ハッ

ハ

…すまない
大丈夫か？

…謝るくらいなら…
もっと手加減してほしい
のですが…

君相手に手を抜く
訳にはいかないな

それに
煽ったのは君だ

ズボッ

はぁ…

はぁ…

はぁ…

あっ あっ

……っ

こんな身体で
満足出来ましたか…

あぁ、その話だが

君が見た娼婦は
帝国軍人だ
もちろん証明も出来る

は!?あなたは
そんな事一言も…!

スパイの情報が入ったので
探ってもらっていたんだ

娼館街というのは
色んな客が来るからな
情報も集まりやすい

話を遮ってきたのは君だろう

君にしては随分食いついてきたな

先程の好きもそういう意味として捉えて良いのか？

なっ…！

し

かあぁっ

あ…あれは…っ

…ああ…君には
他の誰かがいたんだったか…

…ですから
何の話です？

先日街中で男と
いただろう？

相手の顔は見えなかったが
楽しそうだったじゃないか

先日？街中…？
……あぁ

あれはウーガ中佐殿ですよ

は？だが
手を引かれて…

偶然ウーガ中佐殿と奥様、娘さんとお会いしまして

そのまま去るつもりだったのですが食事に誘われ奥様方も是非にと仰るのでご一緒させていただいたんです

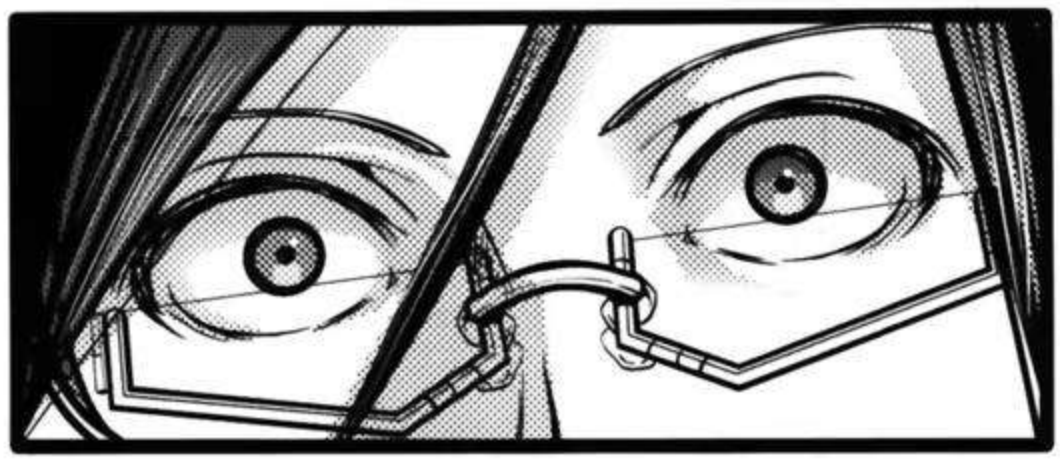
中佐殿は以前から孤児の私を気にかけてくださってるので

おや、もしや嫉妬でもしてくださったのですか？

すっ…

そうだったのか…

レルゲン大佐殿？



ぎゅっ
……あぁ
そうだな
ぐいっ
え？

私の様な凡人が
君を独占する資格は
ないと思っていたし

君が誰かを好きになっても
何も言う権利はないと思っていた

だが君が他の男と
歩いているのを見た時
正直とても嫉妬した…

順番が間違ってる事は
十分承知しているが

私と正式に
交際してくれないか

ターニャ

……あ……

え…あの……っ

っあ あ あ あ か

嫌ならハッキリと断ってくれ

Ja?

Nein?

……Ja

ちゅっ

君が帝都にいる時は
出来るだけ一緒に
食事に行こう

私がそうしたいんだ

…そんなに気を遣って
いただかなくても…

…美味しいお店を
期待します

了解した

END

発行日：2024/12
サークル：御主人様の玩具箱
hal
印刷：ねこのしっぽ
18歳未満閲覧禁止

身体の関係だったけど
レルゲン大佐殿が
娼婦と歩いているのを
目撃したので関係を
終わらせようと言ったら
何故か怒られました。

どうしてこうなった!?

レルゲン×ターニャ

pixiv　健全　商業

RERUGEN × TANYA
hal　C105
御主人様の玩具箱

Logo Design：瀬瑠 様
X:@greedy_vampire
pixiv ID:815366